

# 自然科学のとびら

Newsletter of the Kanagawa Prefectural Museum of Natural History

Vol. 8, No. 1

神奈川県立 生命の星・地球博物館

Mar., 2002



## スズメバチにそっくりな コシアカスカシバ

*Sesia scribai* (Bartel)  
(体長 15 - 24mm 程度)  
山梨県明野村茅ヶ岳中腹  
1999年8月16日

高桑正敏(学芸員)

スカシバガ科に含まれるガ類は、どの種もハチ類によく似ています。スズメバチの仲間だけでなく、ドロバチやトクリバチ、ハラナガツチバチ、マルハナバチ類まで、その似せ方の見事さには感心するしかありません。もし野外で出会うことがあっても、その気で見なければ、ハチの仲間とってしまうでしょう。

コシアカスカシバは本科ではかなり大きな種類で、両はねを広げた長さはメスで40mm以上にも達します。もちろ

ん、スズメバチをモデルに擬態したとしか言いようがありません。かつては野外で偶然に発見される程度で、大変に珍しい種類でしたが、近年になってシラカシなどブナ科を寄主植物としていることが判明し、幼虫は比較的容易に探索できるようになりました。ただし、成虫との出会いは今も運次第です。

写真の個体を発見したときは、カメラしか持っていませんでした。もし網を手にしていたら、撮影はできなかったかもしれません。(本文参照)